

❗ 器具の取外しは工事店・電器店に依頼してください。→感電の原因になります。

- 使用上のご注意
- 照明器具の寿命は、使用条件、使用環境で異なりますが、一般的な使用状態で8～10年が目安です。数年に1回は、専門家(工事店・電器店)による点検を実施していただき、不具合がありましたら適切な処置を施してください。放置すると、火災・感電・故障の原因になります。

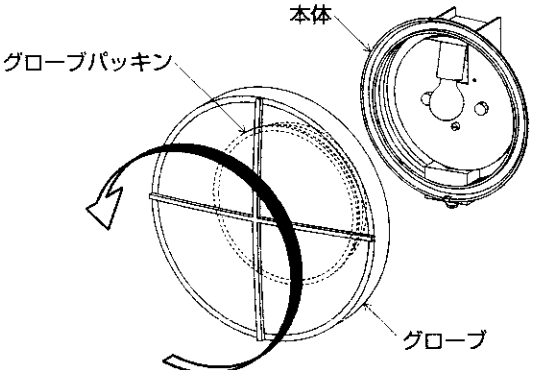
■ランプ交換について △注意 ランプ交換の際は安全のため電源を切ってください。感電の原因になります。

△警告 指定のランプ以外は使用しないでください。
間違った種類、ワット数のランプを使用すると火災の原因になります。

△注意 点灯中や消灯直後は器具やランプが高温のため触らないでください。やけどの原因になります。
しばらくしてから行なってください。

1 電源を切る

2 グローブを取外す
グローブを矢印方向に回して本体より取外す。



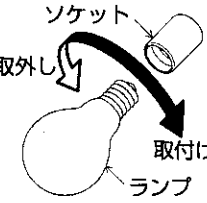
3 古くなったランプを取外す

4 新しいランプを取付ける
ランプの取付けは丁寧に、確実に行なってください。
落下によるけがの原因になります。

※電球形蛍光ランプは使用できません。

5 グローブを取付ける
■施工手順6を参考にグローブを取付ける。

6 使用済みのランプは
必ず市区町村の指示に従い、処理してください。



- 器具のお手入れ △注意 器具のお手入れの際は安全のため電源を切ってください。感電の原因になります。
- 明るく安全に使用していただくために6ヶ月に1回程度の清掃・点検をしてください。
 - 器具の汚れは乾いた柔らかい布か薄めた中性洗剤を浸透させた柔らかい布をよく絞ってから拭き取ってください。シンナーやベンジンなどの揮発性のもので拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。また、薄めた中性洗剤を使用した場合は、洗剤が残らないよう、よく拭き取ってください。変質・故障の原因になります。

コイズミ照明器具 保証書		
※お客様へ 保証書の記載内容をよくお読みいただき、販売店様発行の領収書と合わせて大切に保管してください。		
＜保証について＞		
1. 取扱説明書、本体添付ラベルなどの注意書きに沿った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理させていただきます。		
2. 保証期間は製品お買い上げ日より1年間です。 但し、蛍光灯安定器・HID器具の安定器は3年間です。		
3. ランプ・グローブ・点灯管・電池などの消耗品は、対象外といたします。		
4. 24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は上記の半分の期間とします。		
5. 保証期間でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。 (1)使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷 (2)お買い上げ後の取り付け場所の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷 (3)火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、異常電圧、指定外の使用電源(電圧、周波数)などによる故障及び損傷 (4)車両、船舶などに搭載された場合に生ずる故障及び損傷 (5)施工上の不備に起因する故障や不具合 (6)法令、取扱説明書で要求される保守点検を行わないことによる故障及び損傷 (7)保証書及び領収書あるいは販売店様発行の保証書のご提示のない場合		
6. 保証書は日本国内においてのみ有効です。		
7. 保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。		
※This warranty is valid only in Japan.		
＜アフターサービスについて＞		
1. 保証期間中に万一故障がおきた場合は、保証書を添えて、お買い上げの販売店・工事店までお申し出ください。		
2. 保証期間を過ぎていた場合は、お買い上げの販売店・工事店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。		
3. 販売店・工事店にご依頼にならない場合や修理についてのご相談は弊社サービスセンターにご連絡ください。		
4. 弊社は照明器具の補修用性能部品を製造打ち切り後最低6年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。補修用性能部品には、同等機能を有する代替品を含みます。 従いまして主に電気部品が中心でセードなどの意匠部品は対象外です。		
※保証書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものではありません。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理や、製品・修理に関するご相談並びにご不明な点は、お買い上げの販売店・工事店または別紙記載のコイズミ照明「お客様相談室」・サービスセンターにお問合せください。		
保証期間(お引き渡し日より)		取扱販売店名・工事店名・住所・電話番号
本体: 1年間 安定器: 3年間		
お客様	お名前	
	ご住所	
	電話 ()	

KOIZUMI コイズミ照明器具 施工取扱説明書

型番 AUE547128・AUE547129・AUE547130
AUE547131・AUE547132・AUE547133

お客様へ 器具の取付けの際、電気工事は工事店・電器店へ依頼してください。一般の方の電気工事は法律で禁止されています。

工事店様へ 施工前には、この説明書をよくご覧の上、正しく施工してください。この説明書は必ずお客様へお渡しください。

【安全上のご注意】

⚠ 警告		この表示を無視して誤った取り扱いをすると死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。	
❗ 厳守	器具の取付けは、説明書に従い確実に行なってください。 →器具の取付けに不備があると火災・感電・落下によるけがの原因になります。	⊘ 禁止	器具やランプを布や紙などでおおって使用しないでください。 →火災の原因になります。
⊘ 禁止	この器具は防雨型です。浴室・サウナ風呂などの高温多湿な場所では使用できません。 →火災・感電の原因になります。	⚡ アース工事	埋込ボックスに取付ける場合は、金属製のものをご使用ください。 →樹脂製ボックスの場合、器具の熱伝導により、樹脂の劣化が促進され火災・落下によるけがの原因になります。
	このような場所には取付けないでください。 この器具は壁取付専用器具です。天井・傾斜天井などには取付けできません。 不安定な場所やベニヤ板などの強度の弱い場所、使用後のネジ穴には取付けないでください。 →火災・感電・落下によるけがの原因になります。		アース端子(線)がついている器具は必ず電気設備の技術基準に従って、接地(アース)工事を行なってください。 →アースが不完全な場合、感電の原因になります。
⊘ 分解禁止	器具を改造したり、部品を追加・変更して使用しないでください。 →火災・感電・落下によるけがの原因になります。	❗ 厳守	タイル面などの取付面に凹凸がある場合はすきまを埋めてください。本体パッキンと取付面とのすきまを防水シールなどで埋めてください。 →火災・感電の原因になります。 パッキン外周部にもシール剤を塗りつけてください。
⊘ 禁止	器具のすきまや放熱穴などに金属類を差し込まないでください。 →感電・故障の原因になります。		表示された電源電圧(AC100V)以外の電源で使用しないでください。 →火災・感電の原因になります。
			異常を感じた場合は、速やかに電源を切ってください。 →放置しますと火災・落下によるけがの原因になります。工事店・電器店にご相談ください。

⚠ 注意		この表示を無視して誤った取り扱いをすると傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容です。	
⊘ 接触禁止	点灯中や消灯直後は器具やランプが高温のため触らないでください。 →やけどの原因になります。	⊘ 禁止	ガス機器など、温度が高くなるものの近くへの取付けや、器具の近くにストーブなどの高温のものを置かないでください。また、燃えやすいものを近づけて使用しないでください。 →火災の原因になります。
⊘ 禁止	ライトコントローラなどの調光器との併用はできません。 →火災の原因になります。調光器の取外しが必要です。調光器の取外しには資格が必要です。工事店・電器店に依頼してください。		

■定格

型番	定格電圧	消費電力	使用ランプ
AUE547128・AUE547129・AUE547130 AUE547131・AUE547132・AUE547133	AC100V	54W	クリプトン球 60W形(E17)×1

※センサ待機モードで消灯している場合、約0.2Wの電力を消費します。
※長時間使用しない場合、壁スイッチをOFFにしてください。

■施工前の確認

1 器具重量に耐えられるよう、取付部の強度を確保する

2 設置場所を確認する

- 下図のような場所には取付けない。
誤作動の原因になります。

車のヘッドライトなど、強い光が直接センサ部に入る場所には取付けないでください。 	風などでよく振れる植物などがある場所には取付けないでください。 	感知エリア内に障害物のある場所には取付けないでください。
エアコンの室外機の近くには取付けないでください。 	取付高さが3mを超える場所には取付けないでください。 	不安定な場所や振動の激しい場所には取付けないでください。
昼間でも暗い場所(木かげ・ひさしの下など)に取付けますと、早く点灯、遅く消灯することがあります。センサの感知エリアは、気象条件によりバラツキがあります。 	夜間でも明るい場所(隣地や他の照明がセンサにあたる)への取付けはできません。点灯しないことがあります。 	感知エリア内に車、小動物が入った場合にも反応し、作動することがあります。

- 無線などによる電波障害で誤作動する場合があります。

3 器具と他の光源は1m以上離して取付ける

誤作動の原因になります。

4 取付面が十分乾燥していることを確認する

器具や取付面の変色の原因になります。

5 自動点滅器(デイライトスイッチなど)との併用はしない

誤作動の原因になります。

6 壁スイッチを設ける

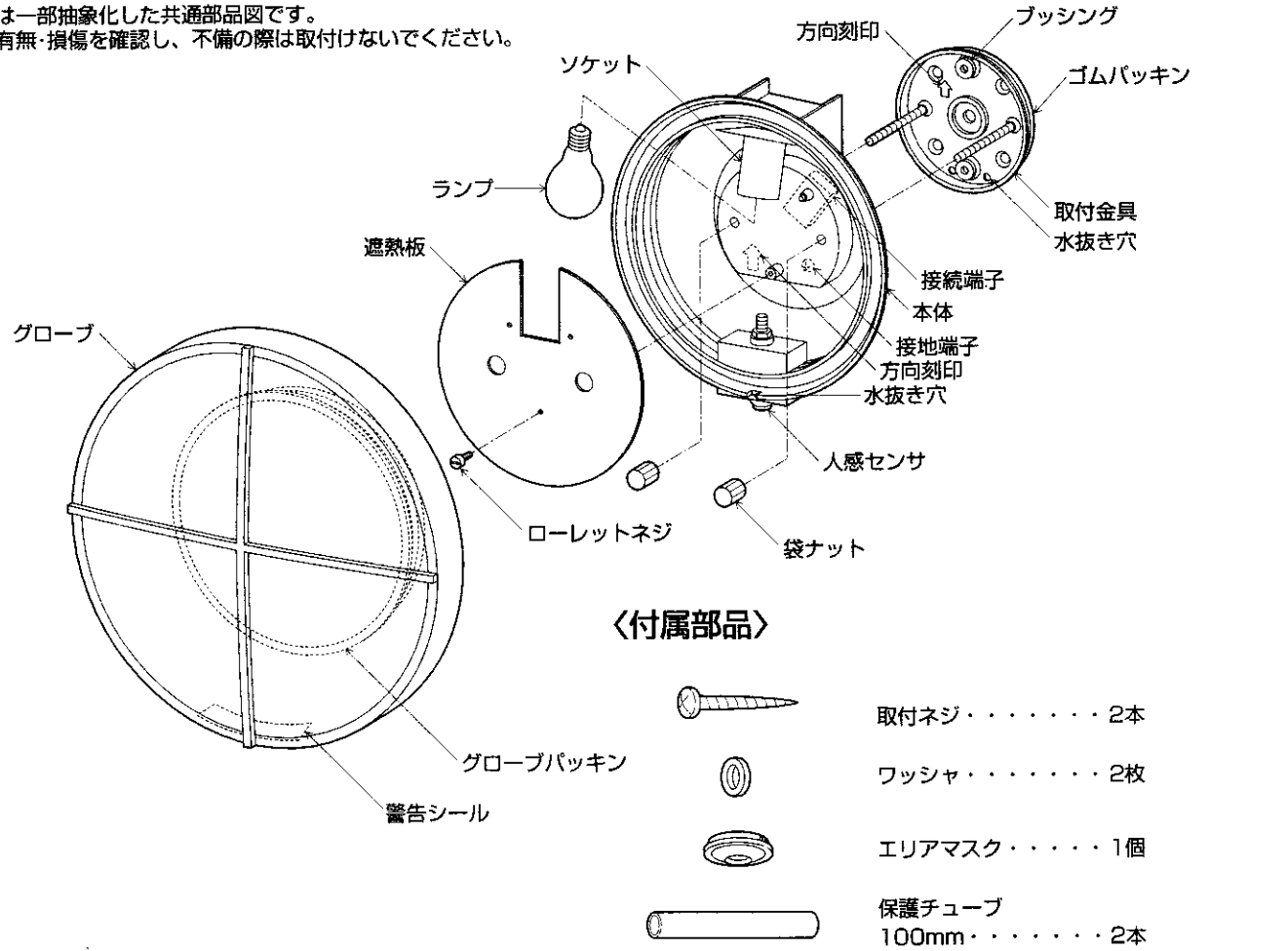
誤作動時のリセットおよびモードの切り替えができません。

7 コーキングする場合

水抜き穴をふさがらないでください。
浸水による感電の原因になります。

■施工手順 △注意 取付けの際は必ず電源を切ってください。感電の原因になります。

※この図は一部抽象化した共通部品図です。
※部品の有無・損傷を確認し、不備の際は取付けないでください。



1 取付金具を取付ける

ゴムパッキン、取付金具に電源線を通し、方向刻印の指示に従って、ワッシャ、取付ネジで取付ける。

△警告 方向刻印に従って取付けてください。
指定方向以外に取付けた場合は火災・感電の原因になります。

2 電源線を接続する

ストリップゲージに合わせて電源線の被覆をむき、必ず付属の保護チューブに通してから接続端子に確実に差し込む。

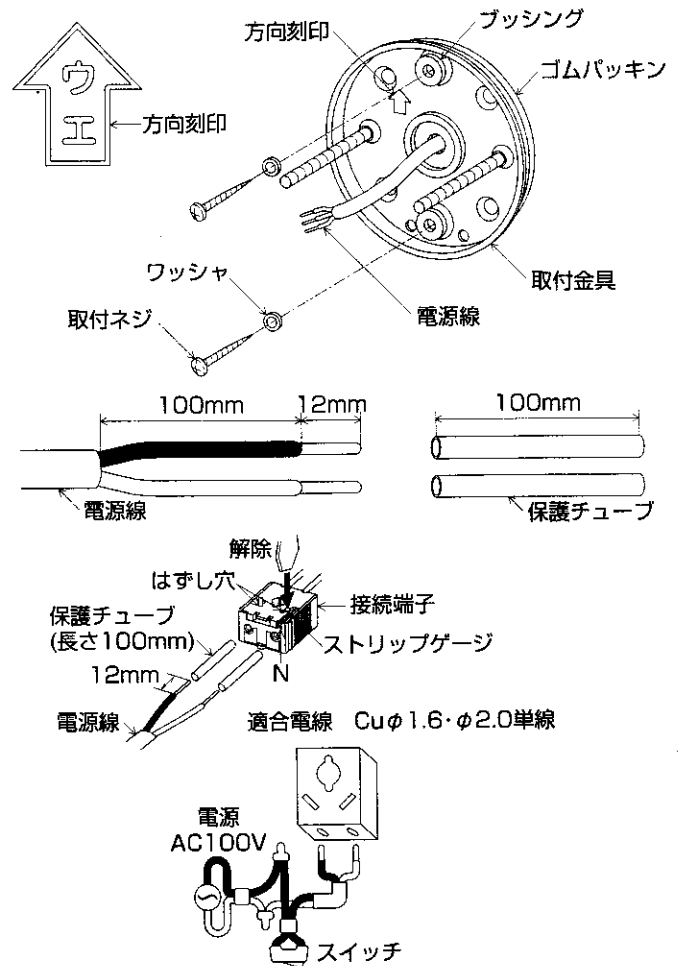
はずす時ははずし穴に幅6mmのマイナスドライバーを差し込み、電源線を抜く。

※D種(第三種)接地工事を行なう。

△警告 電源の接続を確実にこなしてください。
接続が不完全な場合や保護チューブを使用しない場合は火災・感電の原因になります。

電源接続をする際は壁スイッチを必ず設ける。

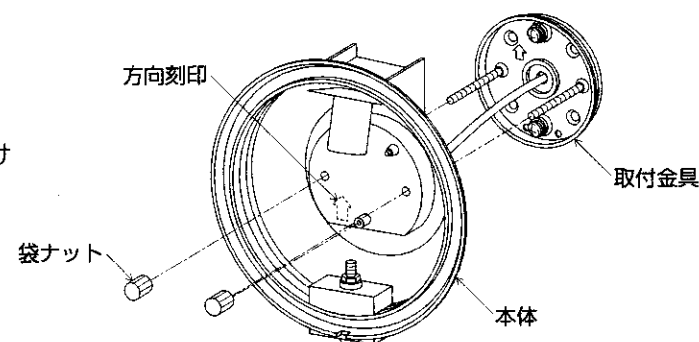
注)スイッチは同梱されていませんので別途ご用意ください。



3 本体を取付ける

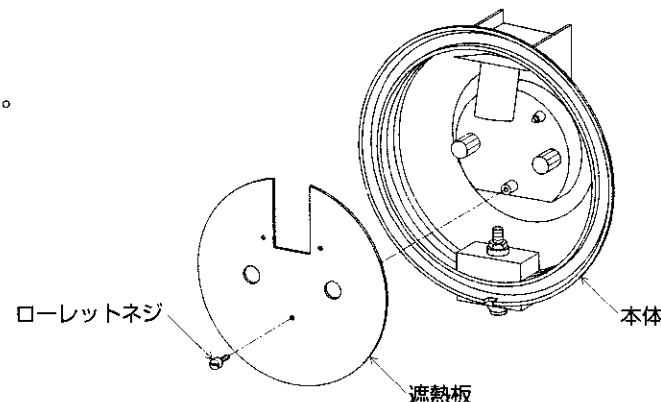
本体を方向刻印の指示に従って取付金具に合わせ、袋ナットで取付ける。

△警告 方向刻印に従って取付けてください。
指定方向以外に取付けた場合は火災・感電によるけがの原因になります。



4 遮熱板を取付ける

遮熱板を本体に合わせ、ローレットネジで取付ける。



5 ランプを取付ける

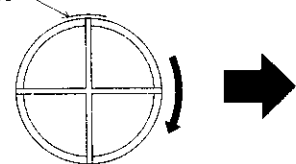
6 グローブを取付ける

グローブに貼付いている警告シールが上に向くようにグローブ、グローブパッキンを本体に合わせて矢印方向に約1回転半回して取付ける。この際、グローブパッキンがよじれたりしないように確実に取付ける。

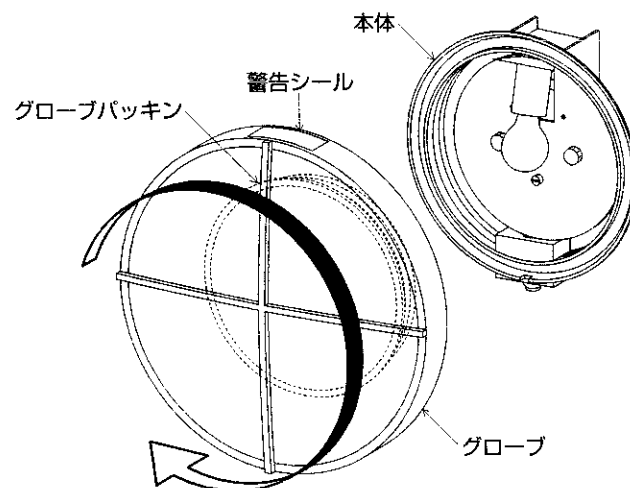
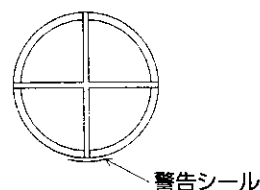
※無理な力は加えないでください。

グローブ取付け開始位置

警告シール



グローブ取付け後



7 点灯の確認を行なう

■センサの内容

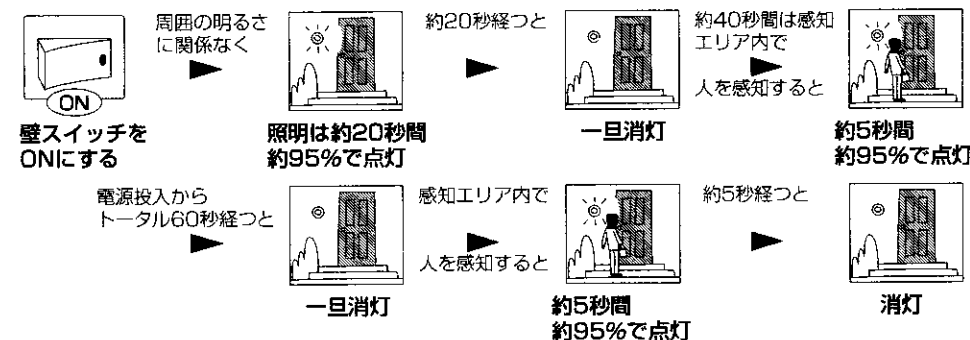
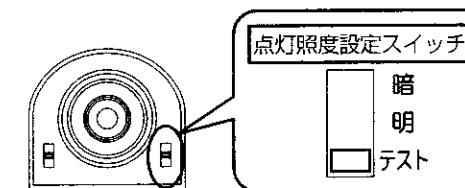
	スイッチ		スイッチ位置	設定内容
	ON/OFF 6hタイマ 調光	動作設定 スイッチ	ON/OFF : オン/オフモードで動作 6hタイマ : 6時間(タイマー)モードで動作 調光 : 調光モードで動作	人感センサの動作をお好みのモードに設定できます。
	暗 明 テスト	点灯照度設定 スイッチ	暗 : 約15 lxで点灯 明 : 約45 lxで点灯 テスト : 周囲が明るい状態でも点灯	人感センサのはたらきは始める周囲の明るさの設定とセンサの動作確認(テスト)ができます。

■感知エリアの設定

右図のように点灯照度設定スイッチを「テスト」に設定し、センサの動作確認と感知エリアの確認を行なってください。

① 電源投入後、約20秒間点灯し、その後約40秒間は明るくても人を感知することにより約5秒間点灯します。
電源投入から約60秒後に一旦消灯し、設定したモードになります。
結線および負荷の作動を確認できます。

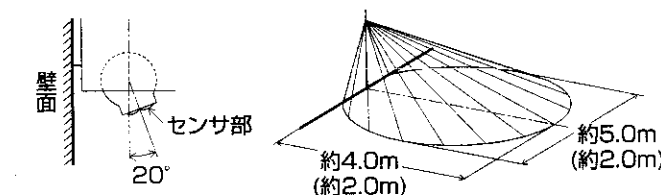
② 明るい時(昼間)でも人を感知する毎に約5秒間点灯します。
感知エリアを歩き、エリアの確認を行なってください。



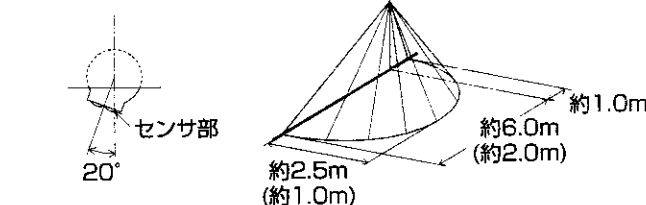
※感知エリアはセードの形状、気温、移動速度、進入方向、人の服装などにより変化しますので、あくまで目安としてください。

※()内はエアーマスク使用時

●前方へ20°可動させた場合<高さ 2.0m>



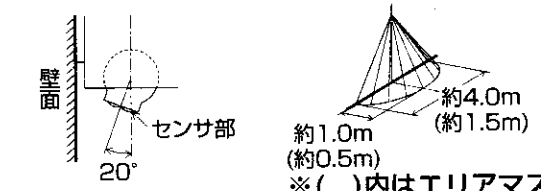
●横方向へ20°可動させた場合<高さ 2.0m>



●可動角度0°の場合<高さ 2.0m>



●手前(器具側)へ20°可動させた場合<高さ 2.0m>

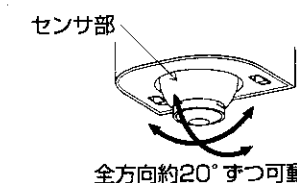


※()内はエアーマスク使用時

●センサを動かして感知エリアを調整できます。

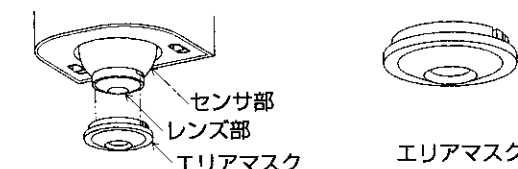
※センサに向かった動作では感知しにくい場合があります。(約半分の距離になります。)

※調整範囲以上無理に動かさないでください。



<エアーマスクの取付け>

エアーマスクの凸部をセンサの凹部に"カチッ"と音がするまではめ込んでください。



※エリア確認後は必ず照度設定スイッチを「明」または「暗」にしてください。

■センサの設定

ご使用の環境に合わせてセンサ部のスイッチで動作と点灯照度を設定してください

●センサの動作について(動作設定スイッチ)


<センサ待機モード>

暗い状態で、人が近づくとセンサが感知して点灯します。動作設定スイッチをお好みのモードに合わせてください。


※電源投入後、約20秒間約95%で点灯し、その後約40秒間は明るくても人を感知することに約5秒間約95%で点灯します。

電源投入から約60秒後に一旦消灯し設定したモードになります。


●オン/オフモード

ON/OFF  照度センサが作動中に人が近づくと約95%で自動点灯し、人がいなくなると消灯します。

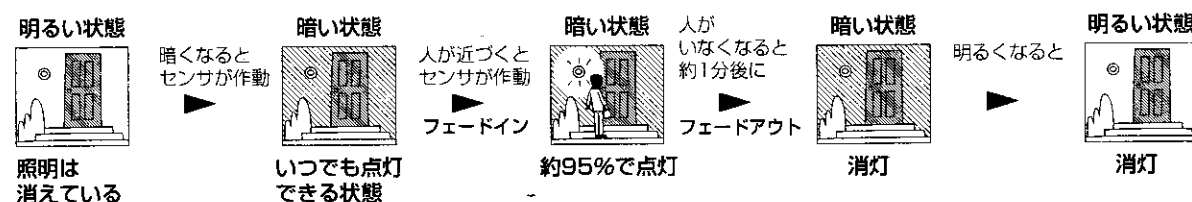
●調光モード

調光  照度センサが作動すると約50%で自動点灯します。人が近づくと約95%にアップし、人がいなくなると約50%に戻ります。

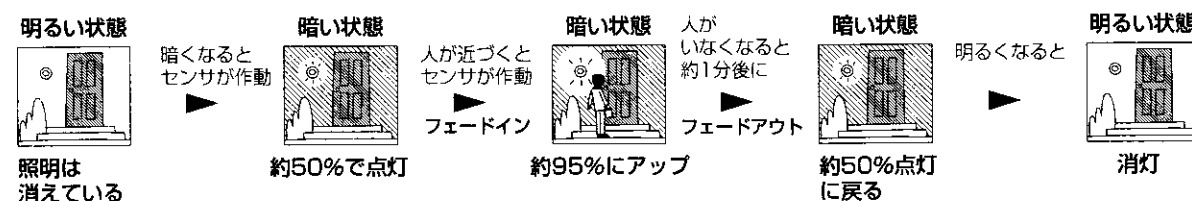
●6時間タイマーモード

6時間タイマー  照度センサが作動すると約6時間は約50%で自動点灯します。人が近づくと約95%にアップし、人がいなくなると約50%に戻ります。6時間後オン/オフモードになります。

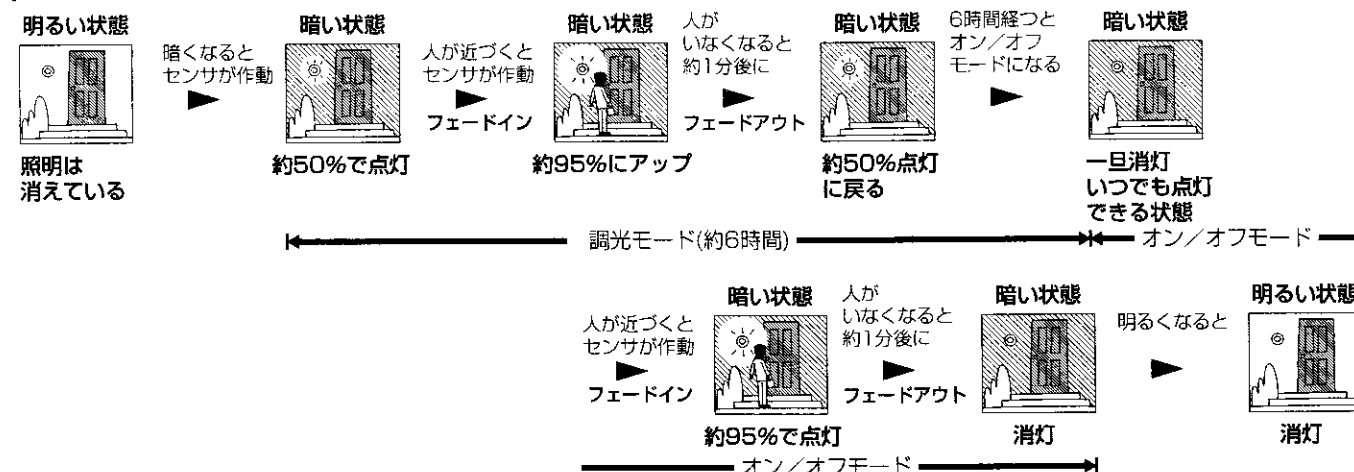
●オン/オフモード(必要な時だけ点灯で省エネ)



●調光モード(暗くなるとほんのり点灯で安心)



●6時間タイマーモード(調光モードとON/OFFモードの組み合わせで安全・省エネ)



フェードイン・・・徐々に明るくなり、約95%点灯
フェードアウト・・・徐々に暗くなり、約50%点灯または消灯
点灯時の%は電力値です

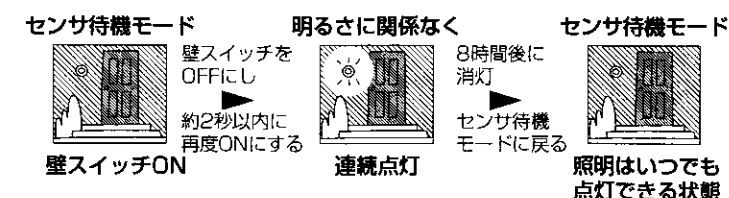
※設定後、壁スイッチをONにしたままご使用ください。

■その他の設定

●壁スイッチの操作で8時間連続点灯ができます。

<連続点灯モード>

周囲の明るさや人体感知に関係なく連続点灯します。



■モードの切り替えを壁スイッチで操作する (プルレス操作)

●この器具は、センサ待機モード(オン/オフ・6時間タイマー・調光)と連続点灯モードを壁スイッチを使用して設定できます。

※この器具を使用される場合は、必ず壁スイッチを取付けてご使用ください。壁スイッチを使用しないと誤作動のリセットおよびモードの切り替えができません。

※1つの壁スイッチで2台以上のセンサ器具をプルレス操作すると連続点灯モードに切り替わらない場合があります。

電源OFF



壁スイッチ: OFF
ランプ: 消灯

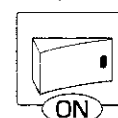
※ご使用の壁スイッチが、押しボタン式など電源のON・OFF状態がわからないタイプの場合は、下記の操作を確実にこなってください。

人を感知して点灯させたい

長時間(8時間)点灯させたい

センサ待機モード

壁スイッチをONにします。
ランプが約20秒間約95%で点灯し、その後約40秒間は明るくても人を感知することに約5秒間約95%で点灯します。
電源投入から約60秒後に一旦消灯し設定したセンサ待機モードになります。

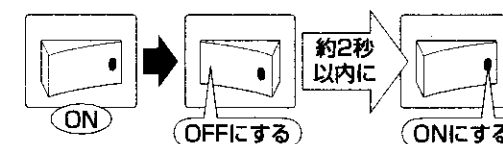


壁スイッチ: ON
ランプ: 点灯できる状態

※連続点灯モードに切り替えたい場合
壁スイッチをOFF→ONと約2秒以内の連続操作で連続点灯モードになります。

連続点灯モード

壁スイッチをONにします。
再度OFF→ONと約2秒以内の連続操作で連続点灯モードになります。



壁スイッチ: ON
ランプ: 点灯

※連続点灯状態に切り替え後、約8時間で自動的に設定したセンサ待機モードに戻ります。また、連続点灯中に壁スイッチ操作(約2秒以内にOFF→ON)を行なった場合、再度その時点から約8時間の連続点灯モードになります。

※連続点灯は周囲の明るさ・人体感知に関係なく点灯する状態です。

※センサ待機モードに切り替えたい場合
壁スイッチをOFFにししばらく(約5秒以上)してからONにすると、点灯し、約60秒後に設定したセンサ待機モードになります。

<ホタルスイッチなど、電源OFF時に表示灯が点灯するタイプの場合>

壁スイッチの使用は2個(3路配線)までとしてください。3個(4路配線)以上使用されるとプルレス動作が正常にはたらない場合があります。
壁スイッチを3個以上使用される場合はホタルスイッチタイプ以外のスイッチを使用してください。

<パイロットスイッチなど、電源ON時に表示が点灯するタイプのスイッチを使用する場合>

壁スイッチがONの状態でも、器具のランプが消灯している時は、スイッチのパイロットランプは点灯しません。

<押しボタン式など、電源のON・OFF状態がわからないタイプのスイッチを使用する場合>

スイッチを1回押しても点灯しない場合は、5秒以上過ぎてから再度押してください。